

四万十川すみずみツーリズム

四万十川すみずみツーリズムは、四万十川を上流から下流、すみずみまで巡ってほしいという願いから平成21年に正式発足しました。個人で経営する農家民宿や農家レストラン、それから体験施設などがこの団体に加入して活動しています。発足当時は23件であった施設も、5年目を迎える今年度は約1.5倍の36施設になり皆で力を合わせ、流域の振興とその地域での暮らしを守っています。

普段ホテルや旅館などを利用している方々にとって、農家民宿や農家レストランと聞くとちょっと馴染みがないように感じるかもしれません。1日に1組だけしか泊まれないお宿も多いですし、お料理もシェフが作るわけではなく会員さんの手作りです。施設に行くまでには少し不安になるようなくねくね道を抜けなければなりません。

ですが、そこには言葉では言い表すことのできない魅力があります。それは、行ってみた人にしか分からない穏やかな時間と四万十ならではの楽しさ。その魅力を感じた人たちが、“また逢おうね”と約束して帰っていくような、そんな場所がすみずみツーリズムにはあるのです。



「私が地域から大根を買くと、取引先のおばあちゃんはそのお金を孫のお小遣いにするんだと嬉しそうに話す。そしてそれがまた自分にとっても嬉しいんだ」
 「もともと川で遊ぶことが好きでね。いろんな人に川遊びの楽しさを知ってもらいたいし、自分も一緒になって遊びたい」
 「歳もとったし得意なことはなにもないけれど、お客様が四万十でゆっくり過ごして笑顔を見せてくれることがすごく嬉しいからこれからも続けていきたい」
 「四万十っていいところ。それをもっといろんな人に伝えていきたい」

会員さんの思いは様々ですが、共通して言えることは『自分の住んでいる地域が大好きで、誰かのために何かができることがすごく嬉しい』ということ。まさにおもてなしのプロなのです。そんな気持ちが伝わるからこそ、訪れた人は心を奪われるのでしょう。また、四万十の雄大な自然を頭ではなく体で感じられることも、普段はできないような体験ができることも、機械的な日常から離れて安らげることも、もちろんすみずみツーリズムの魅力です。

会員さんはすごく謙虚に「こんな田舎によう来たねえ。何も無いけどゆっくりしていきや」と言いますが、そんなことはありません。実はそこにあるのは質の高いものばかり。教えてくれる川遊び、案内してくれる森の中一つをとってもそこに住む人だからこそできるもの。お料理にしても、一見地味そうに見える地元の旬の食材を見事な逸品に仕上げます。お宿もとても手入れが行き届いて、清潔で自然と調和した癒しの空間になっているのです。

